

開催年月日 令和3年11月9日（火）
 質問者 日本共産党 宮川 潤 委員
 答弁者 法人運営担当課長 片山 崇

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>四 福祉施設の体制確保等について</p> <p>（一）集団感染の発生とその対応について 昨年度、及び今年度、入所・居住系福祉施設において、何件、何人の集団感染が発生しましたか。 集団感染が発生した場合、施設では様々な対応に追われると思いますけれども、実際にはどういう対応が必要となるのか伺います。</p> <p>（二）感染流行下におけるサービス提供体制確保に係る経費支援について 集団感染発生に伴う事業所の費用負担は非常に大きなものだと思います。ただいまの答弁でも職員の確保ということがありました。職員が感染またはその疑いで仕事を休まざるをえない場合、欠員を補充すること自体が、介護人材不足の中で非常に大変であり、また人件費も増えることも大変です。仕事の後に自宅に戻れずホテル宿泊するような場合の負担も大きくなります。 これらの費用負担は、どう助成されますか。昨年度及び今年度の事業にはどのようなものがありますか。伺います。</p> <p>（三）今年度事業の実施について 今年度の費用の助成事業については、都道府県の事業だということですが、これについて国は4月上旬から通知を出して、その最終改正が5月だったと承知しております。 ある市のホームページでは、「これらの経費について補助する」としながら、「現時点では、北海道の実施要綱ができていないため、準備が整い次第、詳細を掲載する」としております。 道として、ただちに実施すべきではありませんか。伺います。</p> <p>【指摘】 検討しているということではありますが、国はだいぶ前からもう通知を出してる訳ですから、すぐ実施していただきたいと思います。もう既に今年11月になっています。遅れているということもあって、少なくとも実施する予定があるということも、まず周知する必要があります。この点について指摘をしておきます。</p>	<p>【法人運営担当課長】 集団感染の発生状況と施設での対応についてですが、道内では、令和2年度が62施設、患者数は1,689人、令和3年度では、10月末現在、60施設、患者数は1,130人の入所系施設における集団感染が発生しております。 こうした施設は、感染症に対する抵抗力の弱い方々が多く、また、集団で生活するなどの特性から、感染拡大の防止を図りつつ、サービスの提供を継続する必要がございまして、施設におきましては、保健所・医療機関等との連絡調整はもとより、施設内のゾーニングや居室・共用スペースの消毒・清掃などの実施、入居者の健康管理等の感染対策に加えまして、職員の確保や施設内の優先業務の調整、更には、職員の心のケア等の対応が必要となっているところでございます。</p> <p>【法人運営担当課長】 施設の感染症対策経費についてでございますが道では、昨年度から国の補助事業を活用しまして、集団感染の発生施設等が、必要なサービスを継続するための応援職員の派遣費用や感染拡大防止のための職員の宿泊場所を確保する費用等に対する助成を行っておりまして、このうち、介護施設分につきましては、令和3年度から地域医療介護総合確保基金を活用した道事業となっております。 更に、日常の感染防止対策を徹底するためのマスクやガウン等の衛生資材の購入経費、飛沫感染防止のパーテーション設置費用等につきまして、令和2年度は補助事業として助成、令和3年度は、4月から9月までの間「新型コロナウイルス感染症に対するための特例的な評価」としまして介護報酬等に上乗せされているところでございます。</p> <p>【法人運営担当課長】 感染症発生時の支援についてでございますが、国では、集団感染の発生施設等が必要なサービスを継続するための支援策につきまして、本年5月、令和3年度の実施要綱を発出しましたが、この要綱では、令和3年度に集団感染が発生した施設においてサービス提供を継続するための経費が補助対象とされておりまして、道としましては、現在、補助申請の対象となる施設とその経費の取扱いについて、検討しているところでございます。</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>(四) 昨年度末の感染発生に対する支援について 事業所で集団感染が発生した場合、まず、感染拡大の防止に追われるために、こういった支援の申請がその後になるということはあることだと思います。そこで昨年度末に感染が発生した場合、申請が今年度に入ってしまうということはやむを得ない事情だと考えますが、いかがお考えですか。</p> <p>【指摘】 昨年度末での集団感染が多かったということでありますから、私は発生した時期によってその費用の支援が受けられたり受けられなかったりということ是不公平だと思います。昨年度の感染、そして昨年度末の感染、そして年度をまたいでしまった申請これらについても支援の対象とするように強く指摘いたします。</p>	<p>【法人運営担当課長】 補助事業の考え方についてでございますが、道内では、昨年度から施設における集団感染が断続的に発生した状況にございまして、昨年度末の3月から4月にかけて、集団感染が継続していた施設では、令和2年度分の補助申請に至らなかった事例もあるところでございます。</p> <p>集団感染が発生した施設では、利用者とその家族の方々の生活を支えるため感染拡大の防止に努めながらサービスを継続することに全力で対応させていただいておりまして、道としましては、こうした施設の実情や感染症の発生時期等も踏まえた検討を進めており、できるだけ早期に道の補助要綱をお示しできるよう取組んでまいります。</p>